

食用きのこ



ヤマドリタケ

夏から秋、エゾマツなどの針葉樹林、時にカンバ類の林内に単生～群生する。



特徴

傘：径6～20cm、表面は橙黄色～黄褐色で変化に富む。縁部は白色を呈することが多い。
管孔：離生し、白色のち黄色～緑色。
柄：下部に向かって太く、淡黄色～淡褐色で、上部に帯白色の網目がある。

毒きのこ



ドクヤマドリ

夏から秋、エゾマツ、トドマツなどの針葉樹林内に発生する。毒性は強く、少量食べただけでも下痢、おう吐などを起こす。

特徴

傘：径10～20cm、表面は淡褐色で、幼時縁部は内側に巻く。
管孔：微小で汚黄褐色。傷つけると徐々に青変する。
柄：下部に向かって太く、初め白色、のち黄褐色となり赤褐色の点状のしみを生じる。